

SKYLIFT

スカイリフト SL-2018

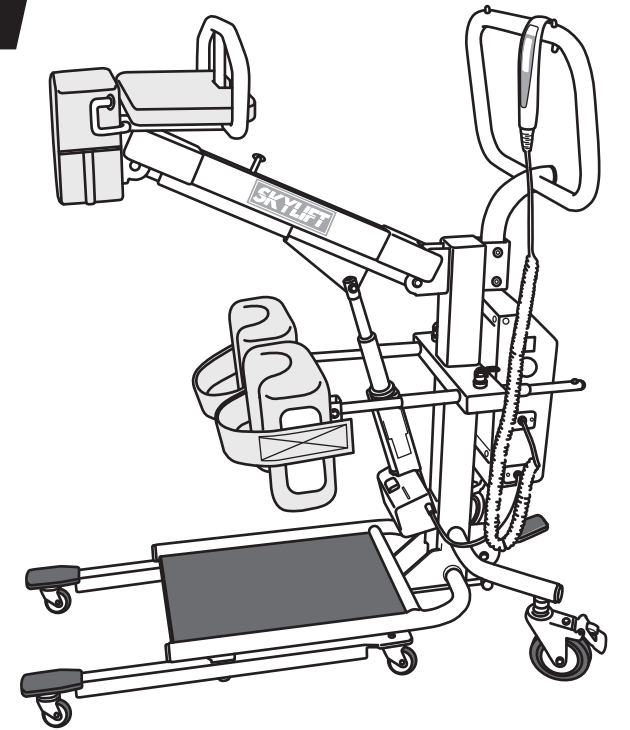
取扱説明書

この度はスカイリフト SL-2018 をご購入いただき、誠にありがとうございます。

この「取扱説明書」には、スカイリフトを適切にお使いいただくための注意事項を記載しています。

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

また、必要なときに読めるように「保証書」とともに大切に保管してください。



<http://www.nasent.net/>

ナーセント

検索

目次

① 安全上の注意	P. 1
② 本体各部の名称	P. 3
③ 組立	P. 4
1. 梱包内容の確認／2. 組立方法	
④ 各部の説明	P. 5
1. コントロールボックス／2. 表示パネル：警告音の意味／3. バッテリー（バッテリーの取扱いについて／充電方法）／	
4. ハンドスイッチ／5. 脚部開閉ペダル／6. 前輪キャスター／7. 膝パット	
⑤ 安全装置	P. 9
1. 挟み込み防止装置／2. 緊急下降ボタン	
⑥ 部品交換	P. 10
1. バッテリー／2. ハンドスイッチ／3. その他の部品	
⑦ 故障かな？と思ったら	P. 11
⑧ 日常のお手入れ	P. 12
⑨ 長期保管	P. 12
⑩ 日常の点検	P. 12
⑪ アフターサービス	P. 13
1. 保証書／2. 修理依頼／3. その他	
⑫ 仕様	P. 14
⑬ 寸法	P. 14

お客様メモ

お問い合わせやサービスを依頼されるときのために、必ずご記入をお願いします。

品番	スカイリフト SL-2018	ご購入 店名	TEL. ()
ご購入 年月日	年 月 日		

 **アイ・ソネックス株式会社**

〒702-8004 岡山県岡山市中区江並100-7
TEL:086-200-1550 FAX:086-200-1553
ホームページ <http://www.nasent.net/>

 **アイ・ソネックス株式会社**

① 安全上の注意

必ずご使用の前に「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに表示した注意事項は・・・

製品を安全にお使いいただくため、またあなたや他の人への危害・損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、誤った取り扱いをすることによって生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要事項ですので、必ず守ってください。

表示についての詳しい説明は下記の通りです。内容をよく理解した上で、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重症を負う可能性が想定されている内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

※この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

※福祉用具貸与事業者が本製品を貸し出す場合、取扱説明書と共に貸し出してください。

また、説明書をよく読んでから使用するよう指導してください。

!! 警告

■取扱説明書や表示パネルに書かれた内容が理解できない人には、使用させないでください。

■子どものいたずらに注意してください。

- お子様には触らせないでください。また、思わぬいたずらに十分注意してください。転倒によるけがや事故の原因になります。

■適応体重／適応身長外の方には、使用しないでください。

- 本製品の耐荷重は、100kg です。体重が 100 kgを超える人には、絶対に使用しないでください。
- 本製品の適応身長は、145cm～175cm です。145 cm未満や 175 cm以上の人には、絶対に使用しないでください。

■介護を受ける方の症状に合わせて、慎重にご使用ください。

- 症状、身体機能によっては、使用できない場合があります。必ず専門の医師や理学療法士、作業療法士などにご相談の上、使用してください。

① 安全上の注意

!! 警告

■可動部のすきまに、手指を入れないよう注意してください。

- 可動部や伸縮部に触れたり、隙間に手や指を入れると、けがをする恐れがあります。

■足の乗せおろしや移動するときは、足元に注意してください。

- 本製品と床の間に介護を受ける方の足をはさまないように十分注意してください。けがをする恐れがあります。
- リフトを手前に引いたとき本製品と床の間に足をはさまれたり、キャスターに足を踏まれたりしないように十分注意してください。特に靴を履かずに操作するときは注意してください。

■介護を受ける人の姿勢や表情に注意してください。

- リフトを操作し、介護を受ける人を立ち上がらせたり座らせたりするときは、必ず介護を受ける人の姿勢や表情をよく観察してください。ずり落ちそうになったり、痛みや苦痛、不安を訴えたりするときは、即座にリフトの使用を中止してください。

■人を吊り上げた状態での移動は、正しい方法で慎重に行ってください。

- 介護を受ける方をリフトに乗せた状態で、段差の乗り越えや、斜面地での移動を行わないでください。転倒してけがをする恐れがあります。
- 急激な横移動はしないでください。不安定になり転倒してけがをする恐れがあります。
- トイレや浴室内などの排水溝周辺の段差や、水切り勾配がある箇所での通過や移動は行わないでください。

■使用後、身体部分の皮膚に変化がないかどうか確認してください。

- リフトを使用した後は、胸や腰、太もも等、本製品及びスリングが当たっていた身体部分の皮膚に変化がないかどうか確認してください。赤くなったままもとに戻らないときは、直ちに医師の診察を受けてください。

■製品の分解や改造はしないでください。

- 修理技術者以外の方は分解したり修理や改造は絶対にしないでください。異常作動して、けがをする恐れがあります。

■スカイリフト専用スリングシート以外のスリングシートは、絶対に使用しないでください。

- 不適合によるけがや、リフトから脱落する危険性があります。

① 安全上の注意

⚠ 注 意

■湿気の著しい場所や屋外での使用はしないでください。

- スカイリフトは、湿気の著しい場所や常時水を使用する場所での使用・保管はしないでください。また、雨にさらされる屋外での使用や保管もしないでください。漏電や故障の原因になります。
- 本体に水などの液体をかけないでください。ショートや感電の原因になります。

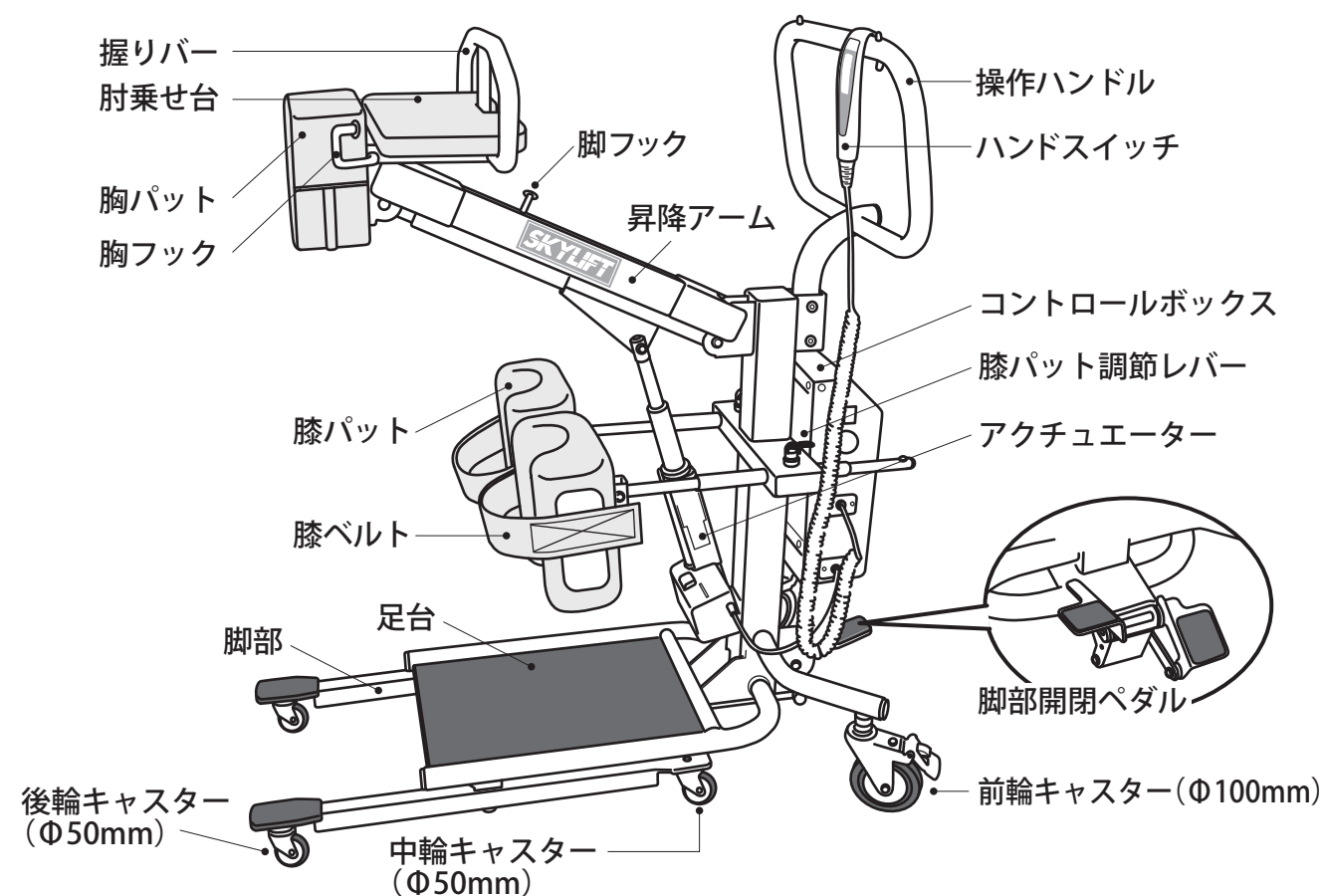
■故障や破損したときは、使用を中止してください。

- 故障や破損したときは、直ちに使用を中止し、販売店またはメーカーへ修理を依頼してください。

■移動させるときは、急に方向転換したり、横に移動しようとしないでください。

- リフトが転倒しけがをする危険があります。

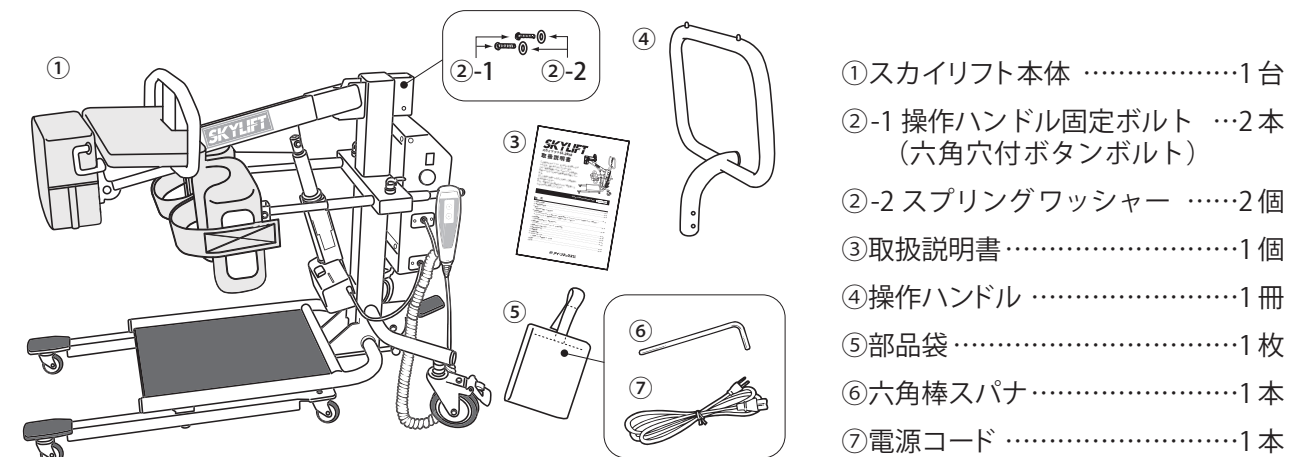
② 本体各部の名称



③ 組立

1. 梱包内容の確認

●この製品は一部組立式です。開梱後は下記の部品に不足がないか確認してください。



2. 組立方法

1	2	3
操作ハンドルを、支柱のハンドル受けに差し込んでください。 ハンドル受け	ハンドル受けの2つの穴にボルトを差し込み、六角棒スパナで固定してください。	ハンドスイッチは操作ハンドル上部にある突起の間にかけてください。

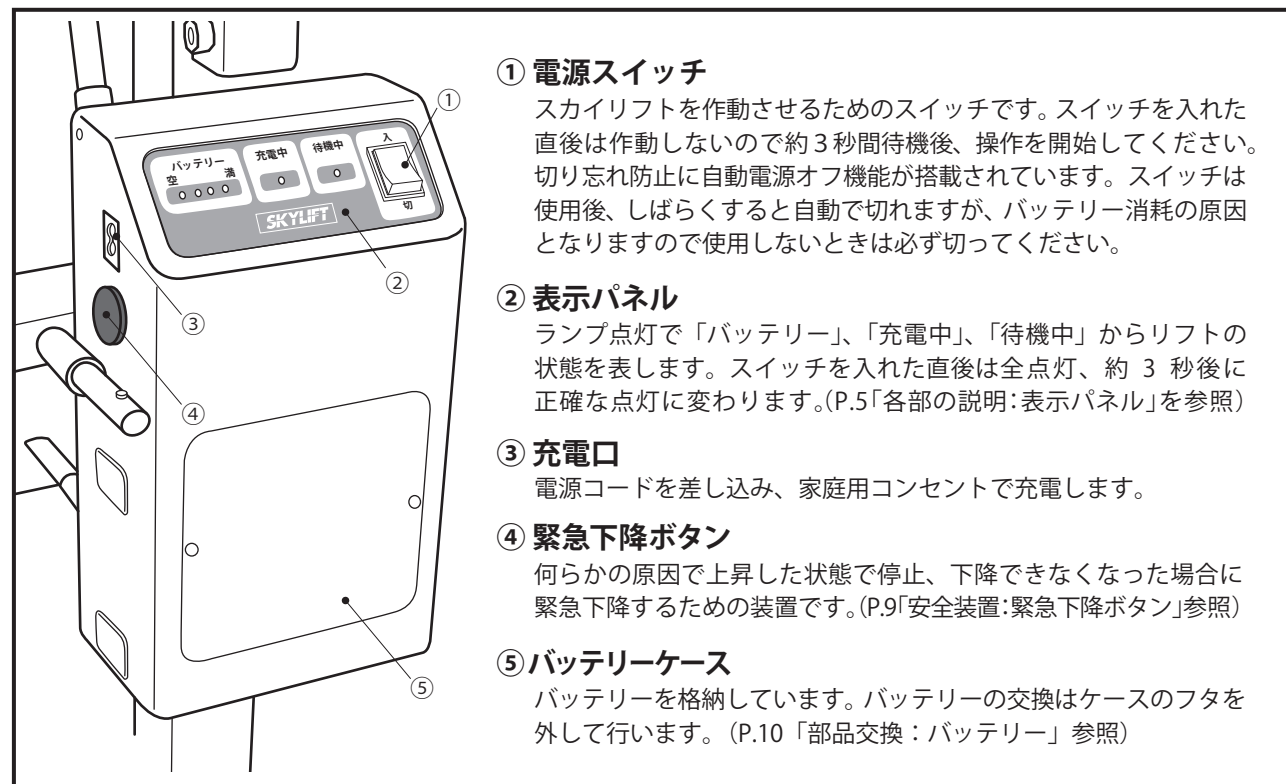
⚠ 警 告

■操作ハンドル固定ボルトは、確実に固定してください。

- 操作ハンドル固定ボルトが緩んだままでの使用は、絶対にしないでください。移動時の不安定さや、転倒による事故の原因になる危険性があります。

④ 各部の説明

1. コントロールボックス



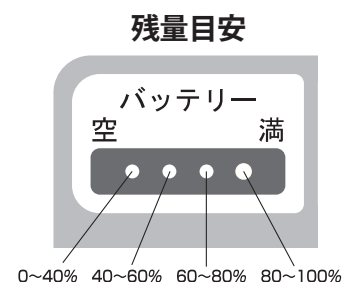
- ① **電源スイッチ**
スカイリフトを動作させるためのスイッチです。スイッチを入れた直後は作動しないので約3秒間待機後、操作を開始してください。切り忘れ防止に自動電源オフ機能が搭載されています。スイッチは使用後、しばらくすると自動で切れますが、バッテリー消耗の原因となりますので使用しないときは必ず切ってください。
- ② **表示パネル**
ランプ点灯で「バッテリー」、「充電中」、「待機中」からリフトの状態を表します。スイッチを入れた直後は全点灯、約3秒後に正確な点灯に変わります。(P.5「各部の説明:表示パネル」を参照)
- ③ **充電口**
電源コードを差し込み、家庭用コンセントで充電します。
- ④ **緊急下降ボタン**
何らかの原因で上昇した状態で停止、下降できなくなった場合に緊急下降するための装置です。(P.9「安全装置:緊急下降ボタン」参照)
- ⑤ **バッテリーケース**
バッテリーを格納しています。バッテリーの交換はケースのフタを外して行います。(P.10「部品交換:バッテリー」参照)

2. 表示パネル

- ① **バッテリー**
バッテリー残量を表示します。バッテリー残量が約50～40%を切った場合、ハンドスイッチを作動させるたびに警告音が鳴り、充電時期を知らせます。
- ② **充電中**
電源コードをコンセントとつないでいる際に点灯します。充電中はランプが点滅、完了後は点灯にかわります。
- ③ **待機中**
待機中に点灯します。連続的に作動させた場合、モーターを保護するため、警告音が鳴ります。警告後も使用を続けると待機中になり、約5分間作動しなくなります。

● 警告音の意味

警告音	原因	対処方法
ピーッ ピーッ ピーッ	連続的な使用による待機中です。 (待機中のランプが点灯)	できるだけ早く使用を中止してください。約5分間使用を中止して待機中ランプが消灯後、再び使用してください。 警告音がなくなってから、さらに1～2往復以上使用を続けると、ハンドスイッチを押しても上昇できなくなります。
ピー	バッテリーの残量が50%以下です。	なるべく早めに充電し、バッテリー残量が「満」になるまで充電してください。 使用後はなるべくこまめに充電するとバッテリーの寿命が長持ちします。



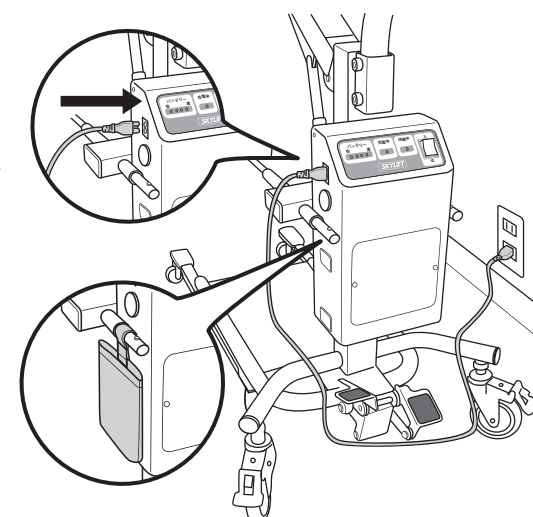
④ 各部の説明

3. バッテリー (バッテリーの取り扱いについて)

- バッテリーは、こまめに充電を行ってください。バッテリーを完全に使い切ってから充電する使い方を繰り返すと、バッテリーが消耗します。
- 電源スイッチは使用を止めて約15分後に自動的に切れますが、バッテリーの消耗を防ぐために、使用しないときは必ず電源スイッチを切ってください。
- バッテリーの寿命は、通常のご使用で約2年ですが、頻繁に使用する場合や周囲の温度が高い場合は、通常の寿命より短くなります。
- 初めて使用する場合、バッテリーを新品と交換した場合、長期間使用しなかった場合、バッテリー残量を空にするまで使い切ってしまった場合などは、必ず長時間充電してください。
- 長時間充電しても、動作時間が短い場合はバッテリーの交換が必要です。(P.10「部品交換」参照)

3. バッテリー (充電方法)

- ① 電源コードをコントロールボックスの充電口と家庭用コンセントに接続します。
- ② 接続すると表示パネルの充電中ランプが点滅し、充電が開始されます。
- ③ 充電中のランプが点滅から点灯に変わるまで充電してください。
- ④ 電源コードを使用しないときは、部品袋に入れて本体にかけ、いつでも使用できるようにしてください。



- 充電は電源スイッチを切った状態で行ってください。スイッチが入った状態で充電すると、バッテリーが消耗します。
- 充電中に電源スイッチを入れてリフトを作動させることはできませんが、バッテリーの寿命が短くなるので、できるだけ避けてください。

!! 警告

- 充電中はスカイリフトの取り扱いに注意してください。
 - 電源コードを踏んだり、重いもので挟まないでください。電源コードが痛んで、損傷、漏電、火災、感電の恐れがあります。
 - 電源コードをキャストで踏む恐れがあるため、充電中はリフトを移動させないでください。
- 電源コードを抜くときはコードを引っ張らないでください。
 - ショートして感電する恐れがあります。必ずプラグ部分を持って抜いてください。

④ 各部の説明

4. ハンドスイッチ

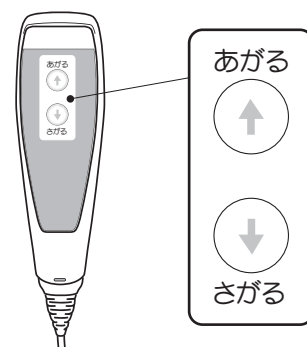
- 昇降アームの上昇・下降をコントロールします。

■あがる

ボタンを押している間中、昇降アームが上昇します。
ボタンを離すと停止します。

■さがる

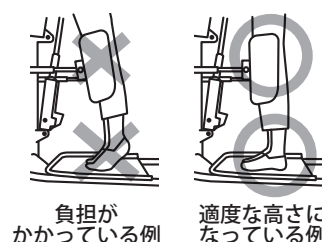
ボタンを押している間中、昇降アームが下降します。
ボタンを離すと停止します。



!! 警告

- 昇降アームは必ず、身長や下肢の状態に合わせて適度な高さで止めてください。

- 介護を受ける方を立ち上げさせる時は、踵が浮いたり、膝が過度に伸展しないように適度な高さで止めてください。身長が低い方や膝関節が屈曲している方は昇降アームを最高位置まで上昇させると、無理な力がかかり、けがをする危険があります。



! 注意

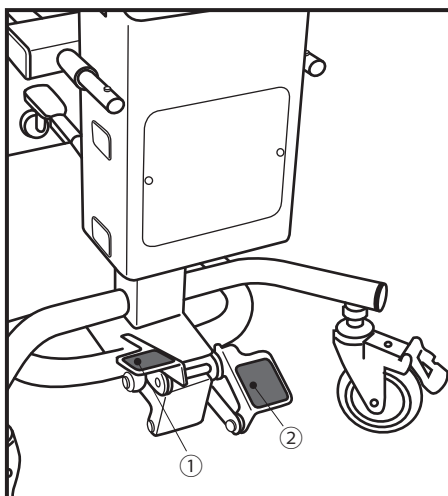
- ハンドスイッチの取扱に注意してください。

- ハンドスイッチを落としたり、コードを強く引っ張る、挟む等はないでください。断線し故障するおそれがあります。
- ハンドスイッチのフックをリフト本体にかけた状態で無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。フックの破損の原因になります。

- ハンドスイッチの操作は、必ず介護者が行ってください。

- ハンドスイッチの操作は、介護を受ける方がしないでください。事故の原因になります。

5. 脚部開閉ペダル



- 車いすや洋式便器など、移乗したいものにあわせて、脚部を可変させます。

① 開脚ペダル

踏み込むと、内寸 329cm / 外寸 438cm に開脚します。
幅広な洋式便器など、リフトを奥まで差し込めないときに使用します。

② 閉脚ペダル

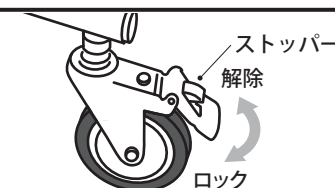
踏み込むと、後輪部が内寸 264cm / 外寸 360cm に閉脚します。
車いすなどと、リフトの脚部が干渉しないようにするときに使用します。

- 開脚した状態で移動させると、走行がより安定します。

④ 各部の説明

6. 前輪キャスター

- ストッパーを踏み込むとキャスターはロックされ、引き上げると解除されます。

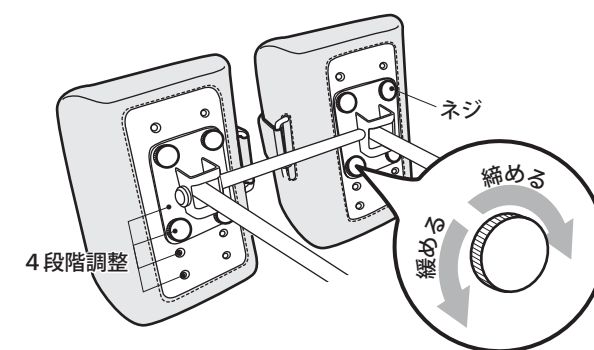


7. 膝パット

- 介護を受ける方の膝にぴったりと合うように、高さ調整と長さ調整ができます。スカイリフトは膝を支点にして立ち上がるので、必ず調整してからご使用ください。

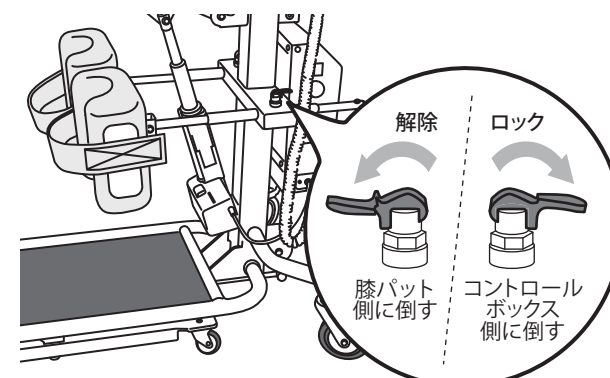
■高さ調整

- ①膝パットを取り付けているネジを、手で回し外します。
- ②介護を受ける方の膝の高さに調整して、ネジをとめます。
- ③膝パットは左右同じ高さになるようにしてください。



■長さ調整

- ①介護を受ける方の両足をリフトの足台に乗せます。
- ②左右の膝パット調整レバーを解除します。
- ③介護を受ける方の膝にあわせて、長さを調整します。(6段階)
- ④調整後、膝パット調整レバーをロックします。
- ⑤膝パット部分を揺らすなどして、完全にロックできていることを確認します。



!! 警告

- 膝パットは、必ず介護を受ける方に合うように調節し、膝ベルトを止めてください。

- 介護を受ける方の膝が膝パットから離れた状態でスカイリフトを昇降させると、膝パットから下肢が離れ、けがをする恐れがあります。
- 両下肢関節の変形などで、両足の足底が床に着かない人、足台から両足の一部が出てしまう人、膝パットが膝にあたる位置に調節できない人には使用しないでください。

- 介護を受ける方を昇降させるとき膝パット調整レバーは、必ずロックをしてください。

- ロックせずに昇降アームを作動させると、膝パットが動き介護を受ける方がリフトから転落、けがをする恐れがあります。

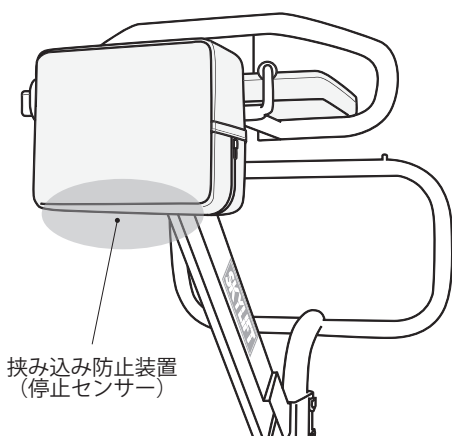
⑤ 安全装置

● この製品は、安全性に対する配慮として、以下の安全装置を標準装備しています。
予期せぬ事態に備えて、あらかじめ機能と動作の確認をしておいてください。

1. 挟み込み防止装置

● 昇降アームが過度に下降し、介護を受けている方を挟み込み、損傷を負わせる危険性を避けるための安全装置です。

昇降アームの下降時に、一定以上の圧迫が加わると自動的に停止しハンドスイッチを押しても下降ができなくなります。
介護を受けている方が、吊り上がった状態で装置が作動した場合は、センサーに触れているものを除去してから下降してください。

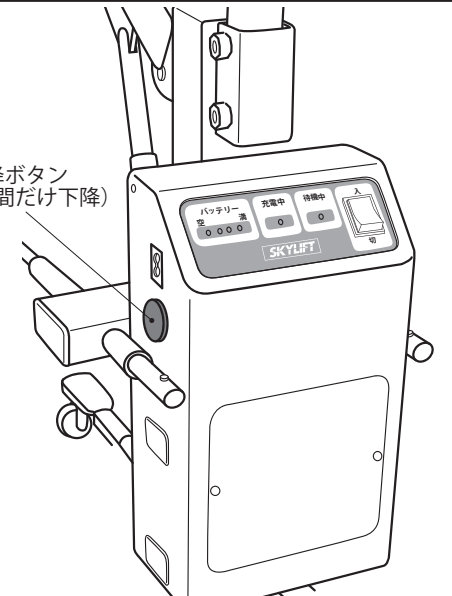


挟み込み防止装置
(停止センサー)

2. 緊急下降ボタン

● 故障など何らかの原因で介護を受ける方が上昇した状態で止まってしまった場合、安全に下降するための装置です。

何らかの原因でハンドスイッチで下降できなくなった場合の緊急用装置です。
挟み込み防止装置が作動している場合でもこの装置は作動します。停止センサーに衣服等が触れ除去できずセンサーが解除できないときは、緊急下降ボタンを押して下降してください。



緊急下降ボタン
(押している間だけ下降)

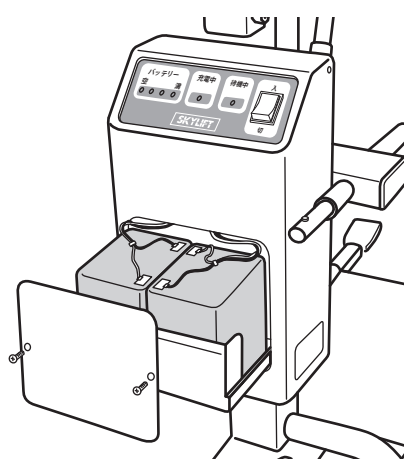
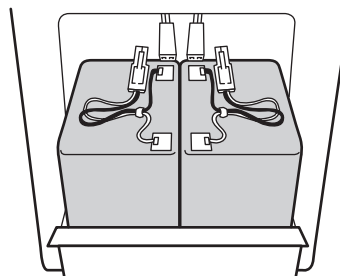
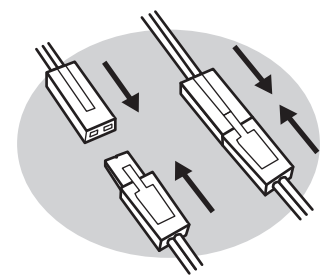
!! 警告

- 挟み込み防止装置が作動しているときに緊急下降ボタンを使う場合、必ず体の一部が挟まっていないか確認をしてください。
- 挟まっているのを確認せずに、緊急下降するとけがをする恐れがあります。

⑥ 部品交換

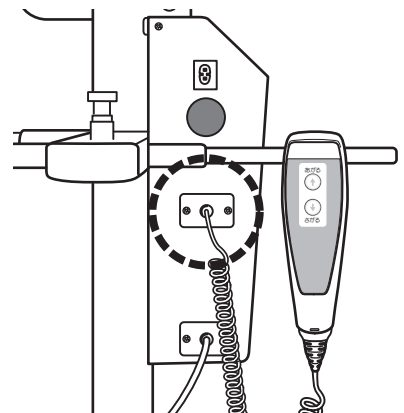
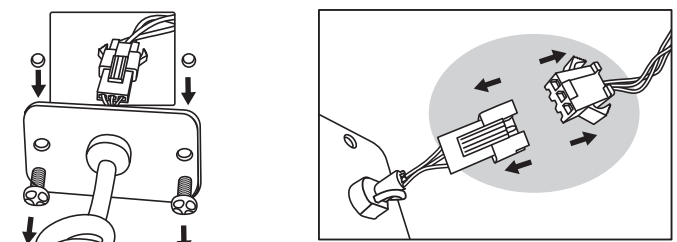
1. バッテリー

● バッテリーは消耗品です。充電ができなくなる等の症状が出たら交換時期です。

1	2	3
バッテリーケースのフタをとめているネジをプラスドライバで、取り外します。 	フタをあけたらバッテリー2個を搭載しているスライドボックスを手前に引き出し、配線を取り外します。 ※ 配線はコネクター部のストッパーを押し下げながら外してください。無理に引き抜くと断線する恐れがあります。 	新しいバッテリー2個のコネクター部を図のように配線し、バッテリーケース内に収納してください。 バッテリーケースのフタを元通り取り付けたら充電をしてください。 

2. ハンドスイッチ

● ハンドスイッチを操作しても作動しない場合、まずは販売店にご相談ください。
ハンドスイッチのみを修理することになった際には、以下の手順で本体より取り外してください。

1	2
コントロールボックスの左側面にあるハンドスイッチのコード根元のネジをプラスドライバで取り外し、フタをあけてください。 	コントロールボックスの中から配線を取り外してください。配線は、コネクター部のストッパーを押し下げながら外してください。無理に引き抜くと断線する恐れがあります。 
3 修理品返却後、取り外しと逆の手順で取り付けてください。	

⑥ 部品交換

3. その他の部品

- バッテリー、ハンドスイッチ以外の部品で交換が必要な場合、販売店またはメーカーにご相談ください。

 **警告**

■電源コードのプラグをコンセントに差し込んだ状態や、本体の電源スイッチを入れたままなどでの部品の交換、取り外し作業はしないでください。
●感電の恐れがあります。

 **注意**

■交換した部品は、適切な方法でなるべく早めに廃棄してください。
●家庭ごみと一緒に捨てないでください。廃棄する時はお住まいの地域の自治体に確認、または産業廃棄物の専門処理業者に連絡してください。

■バッテリーの交換は、2 個とも同時期に交換してください。
●交換時期をずらすと新しいバッテリーでも消耗が早まり、本来の耐用年数を大幅に下回る恐れがあります。

⑦ 故障かな？と思ったら

症 状	チェック	対処方法	参照ページ
ハンドスイッチを押しても動かない (上昇、下降ともに)	電源スイッチが「入」になっていますか。	電源を「切」から「入」にしてください。	5
	バッテリーは充電されていますか。	充電してください。	6
	バッテリーの交換時期ではありませんか。	バッテリーを交換してください。	10
ハンドスイッチを押しても下降しない	胸パットの挟み込み防止装置が作動していませんか。	衣服やベルトなどが、接触して動かない時は接触物を取り除いてください。	9
リフトの移動ができない	前輪キャスターがロックされていますか。	前輪キャスターのロックを解除してください。	8

対処方法を実施しても改善に至らない場合・記載にない症状の場合は、使用をただちに中止し、販売店、またはメーカーにご連絡ください。

⑧ 日常のお手入れ

- リフトの清掃は水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってから拭き、乾いた布で拭きとってください。
- お手入れはシンナー、ベンジン、ガソリンなどで絶対に拭かないでください。
- 消毒をする場合は、アルコールを浸した布やアルコール含浸綿で清拭をしてください。

 **警告**

■お手入れをするときは、電源コードのプラグを抜いてください。感電の恐れがあります。
■本体に水などの液体をかけないでください。ショートや感電の原因になります。

⑨ 長期保管

■長期保管するときは、下記の点に注意してください。

1. 前輪キャスターを必ずロックしてください。
2. 長時間使用しない場合でも、3 ヶ月に 1 回は充電をしてください。充電をしないと自然放電し、バッテリーが劣化します。

⑩ 日常の点検

- リフトに不具合がないか、定期的に点検を実施してください。

付属品の確認		機構の確認	
☐ 電源コード ☐ 六角棒スパナ ☐ 部品袋 ☐ 取扱説明書／保証書		☐ 操作ハンドル：しっかりと固定できている ☐ 膝パット調整レバー：スムーズに動作し確実に固定できる ☐ 前輪キャスター：スムーズに動作し確実に固定できる ☐ 脚部開閉ペダル：ペダルを踏み込むとスムーズに脚部が開閉する	
表示パネルの確認		バッテリーの確認	
☐ 電源投入時に数秒間（約 3 秒間）全点灯する ☐ 充電時、「充電中」が点滅する		☐ フル充電ができている ☐ こまめに充電している ☐ 長期保管時は 3 か月に一度充電している	
昇降動作の確認		専用スリングシートの確認	
☐ ハンドスイッチの「あがる」で上昇する ☐ ハンドスイッチの「さがる」で下降する ☐ 無負荷時：上昇時間 23 秒 ± 3 秒 ☐ 無負荷時：下降時間 23 秒 ± 3 秒		☐ 擦り切れやほつれない エアスリングの場合 ☐ エアクッションがパンクしていない ☐ エアクッションは適切な空気量（目安 50%）	
安全装置の確認			
☐ 挟み込み防止装置：ハンドスイッチを操作して下降時、胸パット下端に触れると停止する ☐ 緊急下降ボタン：押している間下降し離すと停止する。挟み込み防止装置が作動していても下降する			

⑪ アフターサービス

1. 保証書

- このリフトには保証書が添付されています。「販売店名・購入日」などが記入されているか、必ずお確かめのうえお受け取りください。記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
万が一、日付の記入が無い場合は、お買い上げの領収書を一緒に保管してください。

2. 修理依頼

本体が作動しないなど不具合があった場合は、P.11「故障かな?と思ったら」を、ご確認ください。記載されている対処法を実施しても直らない場合や、記載されていない症状の場合は使用をただちに中止し、販売店またはメーカーにご相談ください。

■保証期間中は

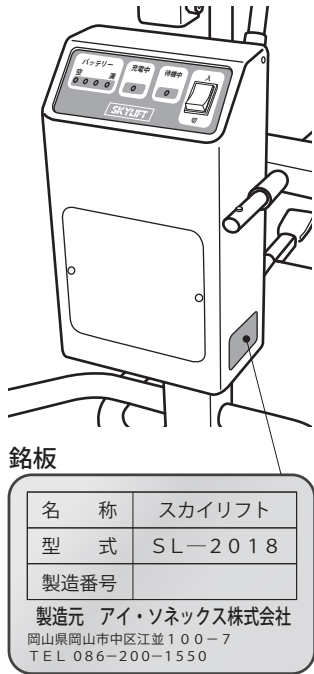
お買い上げの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。

《連絡していただきたい内容》

- 名称、型式（コントロールボックス下部の銘板に表示）
- 製造番号（コントロールボックス下部の銘板に表示）
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 施設名、お名前、ご住所、電話番号

■保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。



3. その他

その他に、アフターサービスについてご不明な点等ございましたら、お買い上げの販売店、またはメーカーにご相談ください。

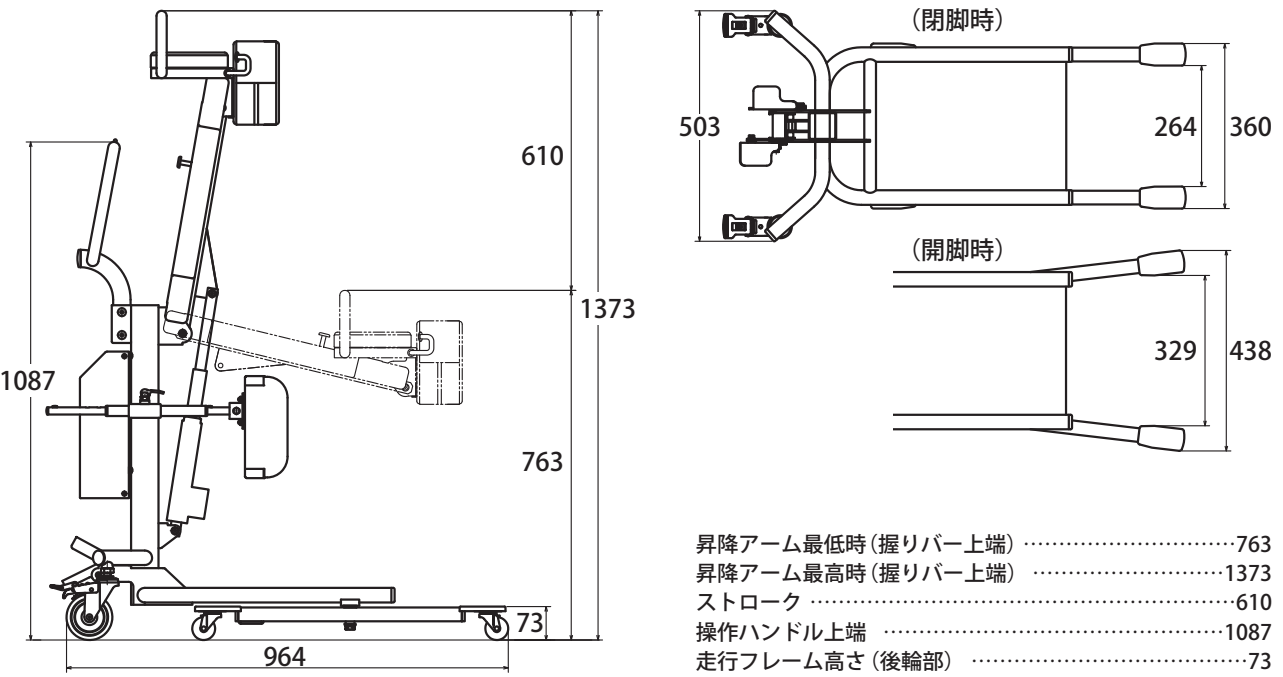
⑫ 仕様

電 源	定格電圧	交流 100V
	定格周波数	50/60Hz
	定格消費電力 (無負荷停止時)	6VA 以内 (満充電時)
	充電装置	充電装置内蔵
バ ッ テ リ ー	形式個数	小型シール鉛蓄電池 12VDC / 2.9Ah / 2 個
	定格容量 (20時間率)	2.9Ah
モ ー タ ー	形 式	リニアアクチュエーター LA31
	定格電圧	DC24V
	連続使用時	Duty 10%
	昇降時間 (無負荷時)	約 50 秒
	最大持上力	6000 N
	最大電流値	5A
コントロール	制御部	16 ビットマイコン
	制作部 (リモコン)	上昇/下降スイッチ
	ヒューズ	7A
キャスター	前輪	Φ100mm キャスター (ストッパー付)
	中輪・後輪	Φ50mm キャスター
材 質	フレーム	スチール製
重 量		42kg

製品の改善・改良のため仕様を予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

⑬ 寸法

(単位: mm)



昇降アーム最低時(握りバー上端)	763
昇降アーム最高時(握りバー上端)	1373
ストローク	610
操作ハンドル上端	1087
走行フレーム高さ(後輪部)	73
走行フレーム長さ	964
走行フレーム内・外寸(後輪部) / 閉脚時	内 264・外 360
走行フレーム内・外寸(後輪部) / 開脚時	内 329・外 438
走行フレーム外寸(前輪部)	503